

昭和60年代から平成時代へ

- 景観共有論
 - 目に見えるものはみんなの共有財産
 - 中心部から全町へ
 - 景観条例の適用範囲の拡大
 - 海外景観研修
 - ドイツを中心に10カ年
 - 参加者:町民と行政から
 - 国内行政研修
 - 行政職員による研修(3カ年)
-

景観共有論

～ 目に見えるものはみんなの共有財産 ～



中心部から全町へ ～ 景観条例の適用範囲の拡大～



点から線へ(現在)

- 古い建物と新しい建物の調和
 - 金山型住宅
 - 生活道路・水路・公園等の整備
 - 暮らしの空間の整備
 - 街並み回遊ルート
 - 来訪者の増加
 - 町民の景観に対する意識の向上
 - 自主的な交流
 - 経済効果
 - 地産地消
-

古い建物と新しい建物の調和



明治12年建築の旅館



金山型住宅の商店

生活道路・水路の整備



公園の整備

～ 暮らしの空間の整備 ～



街並み回遊ルート1



旧



新

街並み回遊ルート2



旧



新

街並み回遊ルート3



街並み回遊ルート4



景観に対する意識の向上



道路沿線への植栽



水辺環境の清掃活動

街並み景観形成助成金支出状況

単位：千円

NO	年度	件数	助成金額	事業費	備考
1	昭和61年度	8	1,850	53,230	
2	昭和62年度	16	3,900	161,779	
3	昭和63年度	17	3,256	158,750	
4	平成元年度	31	5,890	275,424	
5	平成2年度	23	5,195	270,224	
6	平成3年度	21	4,590	273,949	
7	平成4年度	30	6,935	459,523	
8	平成5年度	26	6,320	467,555	
9	平成6年度	26	5,550	418,602	
10	平成7年度	22	4,890	323,185	
11	平成8年度	35	6,690	465,694	
12	平成9年度	31	10,273	515,694	助成金改正
13	平成10年度	47	13,306	663,791	
14	平成11年度	43	10,334	497,422	
15	平成12年度	82	15,777	659,912	
16	平成13年度	136	20,010	775,454	
17	平成14年度	145	18,955	520,537	
	累計	739	143,721	6,960,725	

線から面へ(将来)

- 誇りのもてる町
- オンリーワンの町
- 安全で安心して快適にすごせる町

そして町全体が
金山型住宅のショールームに！

将来のイメージ



現在の様子

将来のイメージ



最後に・・・

□ ゆっくりと着実な町づくりを・・・

～ あくまでも軸足は町民生活 ～

四季 奏でるまら 金山
